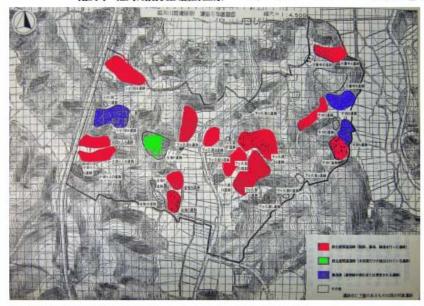
古代「越」の大製鉄コンビナート

越後柏崎 軽井川南製鉄遺跡群を訪ねて 2007.5.15.



帕崎市 軽井川南製鉄遺跡子景 左奥 米山 中央 下ケ久保製鉄遺跡群 右千刈 C 遺跡 右端奥 大善寺遺跡







8世紀から9世紀にかけて、日本統一を確立していく過程の大和律令政権が地方重要拠点で経営したと推測される 多くの製鉄炉が立ち並び、製鉄から鉄製品の製造までを一環生産する「古代の大製鉄コンビナート」遺跡が各地 で次々と発掘調査されています。

昨年 そんな古代の大製鉄コンビナートが 日本海側の越の国 越後でも見つかった(柏崎軽井川南製鉄遺跡群)。柏崎市の南の広大な丘陵地約 28ha(280000 ㎡ (530m 平方 甲子園球場の約 20 倍))の新産業団地・柏崎フロンティアパークの用地から 8 世紀から 12 世紀にかけて 35 もの製鉄遺跡とともに、8 世紀から 11 世紀にかけて 20 を超える製鉄炉が出土。

● 参考 8-12世紀 越・柏崎に眠る大製鉄コンピナート 軽井川南製鉄遺跡群 (資料)

http://mutsu-nakanishi2.web.infoseek.co.jp/iron3/7iron02.pdf

柏崎市遺跡考古館から資料などを送ってもらいましたが、本年1月末に発掘調査がほぼ終了し、遺跡の一部が埋め戻されて現地保存されるが、大部分は記録保存にとどめられ、産業団地の用地に造成されるという。

「東国・東北経営には日本海側にも大製鉄コンビナートがあったはず」と思っていましたが、それが現実になり、しかも 古代鉄の国の一つ「越」の越後で出土と聞いて興味津々。

「今だったら まだ 発掘調査された製鉄炉がそのまま見れる」と聞き、早く行かないと破壊されて企業団地になってしまうと気をもんでいましたが、5月15日見学することが出来ました。

柏崎の市街地・海岸部から少し内陸に入ったまだ残雪に覆われた円錐の姿が美しい「米山」が見下ろす丘陵地に切り開かれた造成地 数多くの丘の斜面の一つ一つに製鉄遺跡遺構があり、6世紀頃に始まった製鉄が急速に技術革新を遂げ、古代完成期の大型炉 それも、技術変遷を示す箱型炉・竪型炉両方が同じ場所に建ち並ぶ。

「なぜ これだけ密集した貴重な製鉄遺跡群が残せないのだろう」と残念でなりませんが、一部もうすでに造成さていましたが、丘陵地の斜面に立ち並ぶ製鉄遺跡遺構を見ることが出来ました。

この時代 律令制を確立した大和政権は蝦夷地征伐に代表される東北経営を推進する一方 戦乱の朝鮮半島・大陸からの侵略の脅威に備えた九州など地方経営の拠点に大和王権の防衛基地を築き、その地方の開拓安定化を推進するため、大型製鉄炉が立ち並ぶ製鉄コンビナートを造り、鉄による武器・工作道具・農耕具などを調達・供給してきた。

近江の瀬田丘陵 源内峠製鉄遺跡や野路小野山製鉄遺跡などで大型・安定生産技術を確立させた製鉄技術を基に 北九州糸島半島の付け根部の元岡・桑原製鉄遺跡群 太平洋側東北の福島県原町金沢製鉄遺跡群などの大製鉄コンビナートを作った。 四国伊予の今治 佐夜ノ谷 II 製鉄遺跡 そして 日本海側のこの柏崎でも そんなコンビナートが出土した。

この柏崎 軽井川南製鉄遺跡群は8世紀から12世紀のきわめて長期にわたり、製鉄が続けられた場所 蝦夷征 伐の拠点とイメージして出かけたのですが、その最盛期は蝦夷征伐を終えた後の9世紀 むしろ 越後・東国開 拓の拠点の性格が強いと柏崎埋蔵文化財センターで教えてもらいました。

すごい古代の製鉄遺跡群が 日本海側からの「越」の国からも出ました。でも まだ この製鉄コンビナートを統括した官営組織や官衙は見つかっておらず、この古代の製鉄大コンビナートの性格はよくわかりません。 すぐ北の海岸沿いには 古代から越後の信仰を集めている「弥彦山」。「弥彦の神は鍛治神。海を渡ってやってきた鍛治集団とともに越後を開拓した」との伝説も海岸沿いに数多く残っている。

今後 この越後でどんなドラマが展開されるのか興味津々です。





柏崎 軽井川南製鉄遺跡 2007.5.15.

5月の連休が過ぎ、大阪から新潟へ行く夜行バスがあるのに気がついて、このバスに乗れば、一日有効に歩ける のに気がついて、このバスで柏崎の軽井川南製鉄遺跡を訪ね、そのあと 越後の弥彦山・長岡の博物館にある縄 文の火焔土器を見に行く計画を作る。ところが、天候不順 晴れと雨が交錯して 中々安定せず、やきもきしな がら 何とか2日間天気が持ちそうとの予報に5月14日夜9時40分「新潟行」夜行バスに乗り込む。翌朝燕・ 三条のインターで降りて、柏崎まで電車で引き返す予定。本当に久しぶりの夜行バス 乗客は佐渡ドンテン山の

ハイクにゆく山グループと外人が数組とざっと20名ほど。座席は3列 リクラインシートが90度近くまで倒れるので快適。家内などは「眠れ ないのでもうこりごり」というが、寝台列車や飛行機の深夜便そして 以前の4列の夜行バスを思うと本当に快適。これで、目的地に朝6時に はつくのだから。

朝5時には夜が明け、親不知海岸から新潟県に入る。天候は晴れてい るが上越をすぎ多頃から雲が多くなり、天候が怪しくなる。米山の山合 を抜けると水田の広がる柏崎であるが、バスはノーストップ。そのまま



北陸道 柏崎周辺

走りぬけ長岡を過ぎて、川幅の広い信濃川を渡る頃から遠くに弥彦山がうっすら見えだすとまもなく燕·三条 IC のバス停。一人バスを降りる。街のはずれで 新幹線の高架が走っている殺風景な何もない場所で 500m ほど離れ たところに新幹線燕・三条駅が見える。







上越新幹線 燕三条駅



新潟県の JR 網は複雑で実にややこしい。新幹線燕 三条駅は新潟駅と長岡駅の間にあり、在来の弥彦 線も通っているのですが、隣の東三条駅まで行か ないと新潟・長岡どちらにも直接行けない。しか も弥彦線の列車は短くて一時間おき 午前・午後 数本づつ。電車の便悪く、新幹線で長岡まで戻っ て そこから信越線に乗り換えて、8 時過ぎに柏 崎に到着。柏崎は今回地図を良く調べるまで知ら なかったのですが、北に日本海が開けるが、皆に しに円錐型の美しい「米山」がそびえ、街の周囲 をグルリと丘陵地が取り囲み、海岸沿いの盆地と

言った風なところ。地図によると海岸の反対側の南側市街地に隣接した丘陵地に目的の軽井川南製鉄遺跡がある。 まだ、朝が早いので、市内にある柏崎市遺跡考古館も開いていないのと今にも雨が降り出しそうな天気になって

きたので、コンビニで握り飯を買って、とにかく遺 跡を見学に先に行くことにする。いつもながら 万 の悪いことにバスも時間的に駄目。タクシーに飛び 乗ると遺跡は知らないという。リュックから地図を 出して、見せながら、新産業団地・柏崎フロンティ アパークの建設用地の入り口 の前で降ろしてもら う。駅から15分足らず、市街地を通り抜け、丘陵地 にかかって、下軽井川集落と書いた案内板から

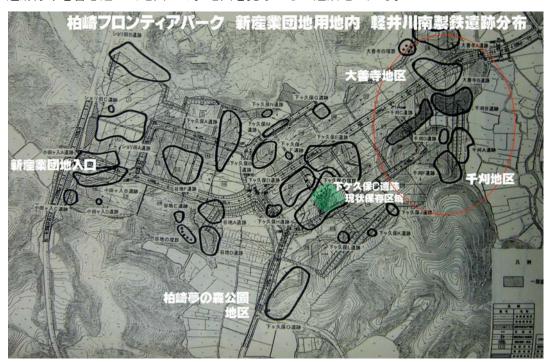




、軽井川の集落と柏崎フロンティアパークの建設用地の入り口

丘陵地を切り開いた新しい道を少し丘陵地に上っていったところ。まったく人の気配なし。 丘陵地の上に、すでに造成された広大な造成地が広がっている。もう丘陵地がほとんど削り取られている。 果たして 製鉄遺跡は見られるだろうか・・・・

頼りは柏崎市遺跡考古館から送ってもらった遺跡図とインターネットから採取した 5 万分の一の地図に開発計画 図ならびに遺跡分布を書き込んだ地図のみ。地図を見ながら 造成地に入る。



甲子園の約20倍 広大な丘陵地に広がる古代の製鉄コンビナート 柏崎・軽井川南製鉄遺跡群



新産業団地入口から見た造成地全体 ここにすっぽり柏崎・軽井川南製鉄遺跡群があった 2007.5.15. 正面奥左端部の丘陵地が千刈・大善寺地区 発掘調査時のままの姿で 製鉄炉・木炭窯などの遺構を見られた 正面奥左手前の造成地周辺 下ヶ久保地区 造成がすすみ、一部現場保存される遺構が埋戻し保管されていた 正面奥丘陵地の向こう側 柏崎 夢の森公園 自然と親しむ森の公園として整備が完了し、次週オープンを待つばかりになっていた

入口からまっすぐ奥へ幅の広いメイン道路が造成され、両川に一段高く造成された用地が並んでいる。 入口から、小田ケ入地区 谷地地区の造成地でかつてはここも製鉄炉や木炭窯などの製鉄遺構あった地区であるが、すっかり整地されている。 整地された土地のところどころにうっすらと砂鉄粉のや細かな赤茶けたスラグ粉が散在しているのが見える。 さらに奥へ進んだ丘陵地は今造成が進んでいる場所で、下ヶ久保地区とおもわれるが、ほとんどどこに製鉄遺構 があるのか良くわからない。 ところどころに青いグランドシートの

かぶせられた跡や土がかぶせられた跡があり、製鉄遺構があった場所と思われるが、良くわからない。







下ヶ久保地区



谷地地区





下が久保地区 製鉄炉・木炭窯遺構と思われる 埋戻しの土が盛られていた

半分あきらめ気味で、右手東奥の丘陵地を見ると幾つかの丘陵地の斜面に掘りこまれた遺構が並んでいるのが見 えた。まだ、発掘調査されたままの姿で残っている製鉄遺跡遺構があった。

地図で見ると千刈地区 どうにか遺構が造成される前に見られた



左 千刈 C 遺跡 中央奥 刈 B 遺跡 右千刈 D・A・F 遺跡の丘 千刈地区 製鉄遺跡群

しっかりと丘陵地の斜面に刻み込まれた製鉄遺構が見え、だいたいの想像はつくのですが、製鉄炉と炭焼窯の確 認が良くわからない。千刈 C 遺跡の反対側の丘の上に登って 正面にすわりこんで、以前いただいた資料と着き 合わせながら製鉄遺構の確認をする。 誰も居ないので、まさに遺跡を独り占めである。 駅前のコンビニで買っ た握り飯をほほばりながら、遺跡図と眼前の遺跡を照らし合わせる。こんなに幾つもの丘に一度に立ち並ぶ製鉄

遺跡を見るのは 本当に久しぶり。 ビックリである。

本当に ラッキー もうほとんど 壊されているかしていてて、 造成地の周りをぶらっと歩いて 帰ること になるのでは と思っていましたが、東に米山がぽっかり浮き、静かな緑の森に囲まれた丘陵地で、この千刈地 区ばかりでなく、隣接したすぐ北側の丘陵地 大善寺遺跡の製鉄遺構を含め、発掘された状態のままで 沢山の 製鉄遺跡遺構が見れて、本当に感激でした。。(あとで 埋蔵文化財センターの人に聞くともう造成工事に引き渡されていて、工事の段階。この地区の造成で破壊される直前。カバーも何もかかっておらず見られてラッキーでした。)



千刈地区 製鉄遺跡 左から千刈 C・ 千刈 B 中央の丘下 千刈 D 右 千刈 A・F また、左手千刈 Cと千刈 B遺跡の丘の間を左に上ったところか大善寺地区である。 正面は東の方角なのですが、軽井川の集落の田畑が見え、中央奥に田尻野工業団地が見える。



千刈 C 製鉄遺跡 遺構



右手 手前 千刈 B 遺跡 奥 千刈 C 遺跡 千刈 B 遺跡 斜面に削り込んだ四角い平面があるのが見え、どうも鍛治工房の跡らしい。



大善寺 A 製鉄遺跡 木炭窯遺構群



大善寺 A 製鉄遺跡遺構全景

大善寺 A 製鉄遺跡遺構



下ヶ久保製鉄遺跡

千刈地区の手前 西側の遺跡中央部が下ヶ久保地区。 西のほうに「残雪を擁いた米山」がぽっかり浮かんでいる

これだけ多くの製鉄遺跡遺構が発掘された状態のままの状態で、しかも隣接してみたのは始めて。

箱型製鉄炉 竪型製鉄炉 木炭窯 が並んでいる様はすごい。 操業最盛期には この丘のあちこちから製鉄炉・木炭窯の煙が立ち上り、薪や砂鉄を運ぶ人たちそして ここで精錬された鉄素材そして加工された製品を運

ぶ人たち本当に沢山の人たちが、この界 隈を歩いたに違いない。

8 世紀後半から 12 世紀まで続く製鉄遺跡とはいいながら、これだけ密接して製鉄遺跡群があるのも本当に貴重な遺跡である。

製鉄遺構は 製鉄炉・木炭窯・排滓溝 排滓場などが出ているのですが、あちこ ち歩き回って、資料とにらめっこで、諸 施設の特定を考えるのですが、もう一つ はっきりしない。特にこの時代からふい ごが発達して、製鉄炉の大型化そして箱 型炉から竪型炉への遺構をささえたと いわれるが、それも知りたい。

番号	遺跡名	划 鉄 炉		et 10 10	木 炭 窯				
		長方形箱型炉	半地下式竪型炉	廃滓場		地下式(トンネル)	鍛冶炉	焼土坑	備考
1	ショリ田A							-	縄文の集落跡
2	ショリ田B		2	2		2			
3	ショリ田C								2
4	小田ヶ入A	1		1	4				
5	小田ヶ入B		2	1	Contract of	3			
6	小田ヶ入C				1			古代・	中近世の製炭運動
7	小田ケ入D	Valley of the same		7.0	100			3	
8	谷地A	1		1	2		1000000		
9	谷地D	1			3	6			
10	谷地E	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE				2			
11	谷地F			10	4			Maria de la compansión	
12	下ケ久保A				2	1			溶解炉
13	下ヶ久保B	Maria Maria	2	1		15			
14	下ヶ久保C	All States	3	1	13	5	3	-	
15	下ヶ久保D	1		1	6				
16	下ケ久保E		2	2	4	1			
17	下ケ久保H				3				
18	下ケ久保L	Andrew Co.		12-10-12-12-12	1				
19	下ケ久保M		2					-	
20	下ケ久保N		-1	1	1				
21	大善寺A	1	2	1	3	9			
22	干刈B	and the same of the			1				鍛冶工房購?
23	千刈C 東	100 mg	2	1	-	8			
23	千刈C 西	1		1	3			2	
24	千刈D(平安)							粘土採掘坑
25	千刈F	Name and Address of the Owner, where the Owner, which is the Owner, where the Owner, which is the Ow			21-1-1	10			未完成箱型炉13
26	干刈A			-		10			集落跡?
	合 計	6	18	14	51	62	3	15	
-		製鉄炉	24		木炭窯	113	,		

色々歩いている間についに雨が降り出し、雷も鳴り出した。一旦遺跡を後にして、埋蔵文化財センターで少し教えてもらい、柏崎の浜にも行って、天気が回復すれば、製鉄炉の位置を確認できれば一番いい。

雨が降る前に遺跡が立てたのはラッキーでした。雨だと宿の心配もしておかねば・・・・

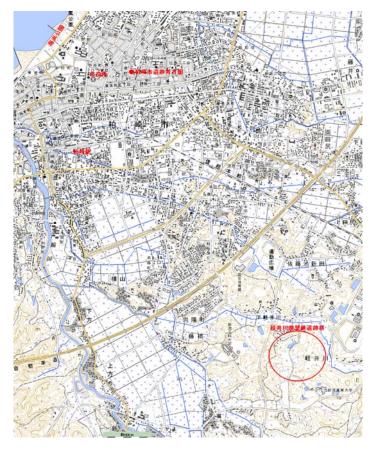
ラッキーなことに30分ほど待てば、下軽井川から柏崎に戻るバスがありました。





本降りになった軽井川の遺跡を一旦 町に戻る 2007.5.15.

2. 柏崎市遺跡者古館を訪れ 砂鉄を見に柏崎海浜公園へ







JR 柏崎駅前





柏崎の市街地



海浜公園

柏崎市の地図

JR 柏崎駅前に戻ると、幸いなことに雨もあがり、先ほどの雷と大粒の雨がうそのように晴れ上がる。交番で市街地地図をコピーしてもらって、以前資料をもらった柏崎市遺跡考古館に行く。

柏崎市は人口 10 万人足らず 新幹線からも外れ、大きな工場もないので 発展から取り残されているとの感じは 否めないが、上越市と長岡市・新潟市の間にある日本海沿岸 越後の中核問いの一つである。

柏崎市遺跡考古館は柏崎市教育委員会に属する埋蔵文化財センターの役割を担っている部門で、駅前から北へ商

店が並ぶ中心街をぬけて、15 分ほど歩いたところ。商店街が並ぶ街道筋から少し住宅地に記いったところにあり、解りにくい。訪ね訪ねしながら、この考古館の近所で訪ねた人が、考古館の学芸員の人で、目的を話して考古館に連れて行ってもらった。

ちょうど 軽井川南製鉄遺跡の発掘に携わった方が居られ、発掘で出土した数々の鉄滓や鋳型などを見せていただきながら、この日本海側の大製鉄コンビナートの位置づけなどを教えてもらった。



柏崎市遺跡考古館

- この製鉄遺跡群は8世紀と12世紀を特定できる遺物を伴う遺構はみつかっていないが、少なくとも9世紀から11世紀までの 300年間続いた製鉄遺跡群で、精錬から鍛造・鋳造まで 鉄の生産から鉄の加工製品までを作った古代の大製鉄コンビナートの遺構である。
- 2. また、製鉄炉は箱型炉 6基 半地下式竪型炉 17 基計 2 3 基の製鉄炉 そして 1 1 4 基の木炭窯が見つかっている。 製鉄炉はいずれも鞴が装備された製鉄炉で、8 世紀後半に確立されたといわれる自然通風の大型炉は見つかっていない。また、この柏崎から北にかれての海岸には砂鉄が大量に堆積されており、製鉄の原料として用いられたと考えている。
- 3. そして、この大製鉄コンビナートを特徴づける性格は東北経営・蝦夷征伐の武器・武具など兵器庫の

性格というより、開拓に必要な農耕具や宗教的道具・各種民具が中心であったと出土した鋳型などの遺物 から考えられている。

このことはこの遺跡群がもっとも栄えたのは9世紀で、すでに蝦夷征伐は終わっており、蝦夷征伐と対比される福島県の金沢製鉄遺跡群の栄えた跡の遺跡であることとも符合する。

4. しかし、この製鉄遺跡群と関連付けられる大きな官衙遺構などは周辺から見つかっておらず、性格などについては 今後 よくつめてゆかねばならない。

この柏崎は奈良·平安時代の北陸道三嶋駅の置かれたところ、あるいは三嶋郡衙が置かれたところと推定されているが、よくわかっていない。

わたしは、この製鉄遺跡群が大和王権 蝦夷征伐の日本海側拠点であったのではないかと思っていましたが、 これらの製鉄遺跡群はその時代をすでに過ぎたあとの製鉄遺跡群のようです。

しかし、この地に古代の大製鉄コンビナートがあったことは疑いなく、越後はもとより、ここから日本海や陸路 で東北・東国しいては信州までも鉄が運ばれたのかもしれない。

「これだけ 大規模な古代の製鉄遺構群 本当に残したかったが、 どうしても 全体を残しえなかった」と考 古館の人達も残念そう。どうしても製鉄遺構は操業の都度 製鉄炉が壊されてしまうため、産業廃棄物かしてし まうため、派手さがなく、調査の後 記録保存にとどめられ、壊されてしまう。さびしいかぎりである。

(このときはまだ知らなかったのですが、 午後 再度 軽井川南製鉄遺跡を訪れるとこの遺跡に隣接した 南側には広大な自然の森公園が整備され、オープンを待つばかりになっていた。

「隣接するこの公園と産業団地がそつくり いれかえられれば、 遺跡群ももっと大規模に

残ったろうに・・・・」と思う。ほんとうに「悔しいかぎりである。

考古館で新しい資料をいただいて、今 発掘されたままの姿で見られる千刈地区 大善寺地区の製鉄遺跡群の

製鉄炉の正確な位置を教えてもらって、考古館を後にする。

考古館の人たちの話によると「柏崎の海岸の北の方に行けば、今も砂鉄を採取している場所があるが、柏崎の街の海岸でも砂鉄の堆積が見られる」と教えてもらって、海岸まで歩いて20分ほどで、柏崎の海岸。砂鉄を見に行く。

柏崎の海岸には防風林帯とコン クリートの頑丈な堤防が市街地と 浜を隔て、浜は黒々 砂鉄が堆積し ていました。

また 風が本当に強いのでしょう 堤防の上にも風で飛ばされた砂鉄 が堆積していました。

そして 西には海岸の向うに「米山」がそびえ、反対の東は浜が細り、テトラポットの海岸がつつき、その奥は海岸まで丘陵地が迫る浜が遠望される。ここも 砂鉄が堆積しているのだろう。 また、まっすぐ伸び、高い煙突が浜に遠望されるあたりが、刈羽原子力発電所のあたりか・・・・。



柏崎 海浜公園周辺の海岸(1) 西に米山がみえ 浜は砂鉄で黒い



柏崎海浜公園周辺の海岸(2)東は浜が細り、遠く刈羽の丘陵地が見える



砂鉄が堆積する柏崎の浜 海浜公園で 2007.5.15.





風が強いため、砂が舞い、防波堤の上まで砂鉄が溜まっている

軽井川南遺跡の製鉄炉 再度 軽井川南製鉄遺跡へ 製鉄炉の確認に







オープンが待たれる 「柏崎夢の森公園」 2007.5.15.

浜から柏崎の駅に戻り、再度軽井川南製鉄遺跡に行く。

駅の南側から新潟工業大学までのバスに乗り、終点から30分ほど歩いて ぐるりと南側へ丘陵地を回りこみ、 南側から遺跡に入る。南側は広大な「柏崎夢の森公園」として整備され、オープンを待つばかり。この公園の中 を北へまっすぐ歩くと隣接する遺跡群の南端になる。

こんなに広い公園がすぐ隣に作られているのに何故 遺跡群が保存できないのか・・・との思いがあるが、地方都市の財政からは持ちこたえられないのだろう。

公園をまっすぐ北に抜ける道は朝北側から入った新産業 団地のちょうど南北に真ん中を貫くメイン道路。

南から公園を抜けると下ヶ久保地区である。

遺跡の中に再度入って、今度は しっかりと遺跡考古館で教えていただいた製鉄炉の位置とタイプなどを見たい。この遺跡では甲子園球場の約20倍の広い丘陵地に9世紀から11世紀(8世紀から12世紀まで広がるかもしれない)古代300年にわたる鉄生産ならびに鍛治・鋳造による鉄製品の生産が行われた。

そして、その遺構として 24 基の製鉄炉・113 基の木炭炉 3 基の鍛治炉などが出土した。

また、数多くの製鉄場とともに 残念ながら 整地されていて、自分ではよく確認は出来ませんでしたが・・・・遺跡の中心部 下ヶ久保 A 遺跡では 鋳造場遺構 下ヶ久保 C 遺跡では製鉄場と共に鍜治場 (5 基以上の鍛治炉) 遺構が見つかっている。

下ヶ久保 A 遺跡からは溶解炉が 3 基以上がみつかり、壊れた溶解炉や鋳型などの廃棄場も見つかっている。

ここでは青銅のついた坩堝などの破片もみつかり、 青銅の鋳造も行っていたようです。





下ヶ久保 C 遺跡では製鉄炉の密集地点の北側から 5 基以上の鍛治炉がみつかり、A 遺跡からも金床石・椀形滓・鍛

造剥片などが見つかっている。鍛治工房はこのほか千刈地区千刈 B 遺跡も明確ではないが、鍛治工房遺跡と見られている。

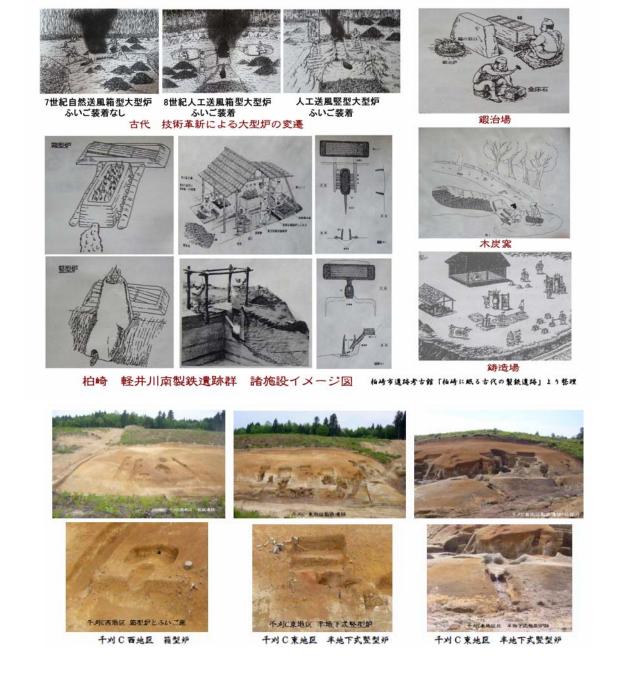
そして これらの製鉄遺構をはさんで南北の端からショリタ A 千刈 A の二つの集落跡がみつかっているが、この軽井川南製鉄遺跡と関連付けられる古代の集落は千刈 A 遺跡都考えられている。

また、ショリタ A 遺跡は縄文時代を中心とした集落跡であるが、この遺跡からも古代の土坑が見つかっており、 鉄生産にかかわりがあるかもしれませんが、よくわからない。

長い期間製鉄が行われたこの遺跡群では 製鉄炉の技術革新に伴いその変遷もみられるという。

7世紀後半畿内近江の源内峠製鉄遺跡などではじまった製鉄炉の大型・安定化の技術革新はその後「ふいご」の装着や箱形炉と共に竪型炉も導入され、古代の大製鉄コンビナートとして地方重要拠点へ伝播していった。 下図は柏崎市遺跡考古館でいただいた資料から再整理した軽井川南製鉄遺跡群の諸設備を再整理したものである。

(図には自然送風箱形炉の図を入れていますが、軽井川南製鉄遺跡群ではこのタイプの炉は 出していない。また、軽井川南製鉄遺跡群では 当初箱形炉での操業が始まり、その後 竪型炉も順次導入されたと考えられています。



1. 下ヶ久保地区の製鉄炉





この地区には1基の箱型炉と10基の半地下式竪型炉があったメイン地 区であるが、ほとんど造成が完了しつつあり、製鉄炉を直接見ることは出 来ませんでした。また、この地区は遺跡の中心部でほかに鋳造工房や鍛 治工房が発掘されており、一部製鉄炉など我が保存されるため埋め戻され ているという。

造成で丘陵地の形がかわっているため、状況がよくわからず、 それぞれ の特定が出来ませんでしたので

見学した時の下ヶ久保地区周辺の写真とインターネットに掲載された下 ヶ久保製鉄遺跡の発掘時の写真から採取して 掲載しました。



下ケ久保遺跡全景



下ヶ久保 C 遺跡 箱型炉、竪型炉、廃サイ場、木炭窯、鍛冶炉その他 こげ茶の部分が廃サイ場





下ヶ久保 E 遺跡箱型炉、竪型炉、廃サイ場、木炭窯 下ヶ久保 A 遺跡鋳造溶解炉、鋳造関連廃サイ場。。 下ヶ久 保 B 遺跡製鉄炉、廃サイ場、木炭窯.



インターネットより採取した下ヶ久保製鉄遺跡 発掘現場



下ヶ久保遺跡周辺(1)



2007. 5. 15.















下ヶ久保遺跡周辺(2) 2007.5.15.

2. 千刈 C 製鉄遺跡の製鉄炉

古代の製鉄遺跡 軽井川南遺跡群 千刈 C 製鉄遺跡 西地区8世紀末·東地区9世紀

千刈 C 西地区 箱型炉 千刈 C 東地区 半地下式豎型炉 1基 半地下式木炭炉 3基 2基 地下式木炭炉 8基

















千刈 C 西地区 箱型炉

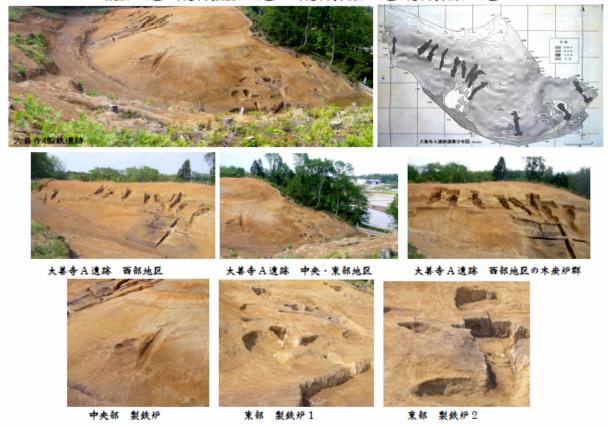
千刈 C 東地区 半地下式竪型炉

千刈 C 東地区 半地下式竪型炉

3. 大善寺 A 製鉄遺跡の製鉄炉

古代の製鉄遺跡 軽井川南遺跡群 大善寺 A 製鉄遺跡 2007.5.15.

箱型炉 1基 半地下式豎型炉 2基 半地下式木炭炉 3基 地下式木炭炉 9基



4. 千刈 B 遺跡 鍛治工房跡とかんがえられている

木炭窯 1 基と共に斜面を毛津って平坦な平面をつくり、ここからコの字状の溝が出土しその内側に柱穴群など掘立柱の建物または上屋があったとみられる。また、近接する木炭窯からは愚痴が見つかっており、鍛治炉や鍛造剥片はみつかっていないが、鍛治工房跡と見られている。

古代の製鉄遺跡 軽井川南遺跡群 千刈B遺跡 鍛冶工房遺構??



5. 千刈 F 遺跡

製鉄炉はしゅつどしていないが、木炭炉 10基(東側斜面6基 南側斜面4基)出土

古代の製鉄遺跡 軽井川南遺跡群 千刈F製鉄遺跡[1]



千刈F遺跡(左) と 千刈C遺跡(右)





古代の製鉄遺跡 軽井川南遺跡群 千刈F製鉄遺跡[2]











4. 柏崎 軽井川製鉄遺跡群をおとずれて まとめ

越後 軽井川南製鉄遺跡群 甲子園球場 20 個かゆうに入る丘陵地一帯に広がる日本海側 大製鉄コンビナート 大和王権が東日本の日本海沿岸から東国・信州をにらんだ大製鉄コンビナートと思っていますが、まだ、その性 格は確かではない。

今年1月 発掘調査域の調査が全部完了し、新産業団地用地への造成が進む。「今だったら 立ち並ぶ古代の 製鉄炉が見れる」と出かけてきました。

遺跡の中心部 下ケ久保地区はすでに造成地に姿を変えていましたが、南東端の千刈・大善寺地区の製鉄遺跡群を見ることが出来ました。

畿内で製鉄創業の安定化ならびに大型化が確立され、地方へ伝播していった鉄アレイ型の製鉄炉が、鉄器供給と新しい製鉄技術伝播を通じて 支配力を強め、地方を開拓し、大和王権の地方支配を確立してゆく そんなドラマを越後に描いての軽井川南製鉄遺跡群の訪問でした。

自然風の製鉄炉で端待った製鉄の量産化が地方でどのように展開していったのか・・・

ふいごが投入されて 人工的な送風が始まる8世紀 どんな炉に変わったのか

また ふいごはどんなふうに装着されたのか・・・・

この軽井川南製鉄遺跡は「9世紀から11世紀の長期の製鉄遺跡群でも8世紀まで遡れるかもしれない」と聞いて、「蝦夷征伐など大和王権が東日本征圧を進めてゆく過程での前線基地 兵器庫ではないか」とおもっていましたが、遺跡考古館で聞くと「この遺跡の最も栄えた時代は東日本の征圧がおわった後の時代9世紀。 武器ではなく むしろ 農耕具・工具が主体のコンビナートのようだ」と聞きました。でも これだけ大きな製鉄コンビナートを維持してゆくには 大きな支配力が必要であり、そこの遺跡を支える拠点が周辺部にあるはずと思われるのですが、柏崎周辺ではいまだ そんな拠点は見つからず。考えられるのは 日本海沿岸の交通の拠点「三嶋駅」またはこの地「三嶋群衙」跡がみつかれば、それらとの関連で何か新しい性格が御津かもしれないが、今ははっきりしないという。

でもすごい遺跡でした。

ふいごが装着された箱形炉と半地下式の竪型炉 古代の大型製鉄炉跡が「踏みふいご」の跡もくっきりと見ることが出来ました。そして 製鉄炉の数に比べて 隣接する木炭窯の下図にもビックリしました。

「たたら製鉄がはじまれば 山は丸裸」と頭ではわかっているのですが、製鉄炉のすぐ横に幾つもの木炭窯が立ち並ぶ姿は始めてみる光景。

この千刈や大善寺の製鉄遺跡群のあるこの丘陵地の斜面にそのまま箱形炉・竪型炉そして 木炭炉が立ち並ぶ 姿が復元されれば、どんなに壮観だろう。 事実古代には ここにそんな姿があった。

「鉄は産業の米」とは言いたくはないが、今日の日本のルーツをたどれば 鉄の果たした役割ははかりしれない。 鉄の遺跡のまわりをみると そこには人の歴史があり、文化がある。

いつの日か スポットライトがあたるまで、残されないものか・・・・・ それが無理なら、遺跡としてどこか一つでもいいから 製鉄炉単体でなく製鉄遺跡群として のこせないものか・・・・・

失われてゆくものへのないものねだり出はないが、「鉄にはそれだけの価値がある」といいなら 遺跡を跡にしました。 仰ぎ見る「米山」の山襞も深くなってきた道をバスがある新潟工大の前まで また ぶらぶら歩く。 でも 素晴らしい遺跡また 古代の製鉄炉が見られて ご機嫌。また柏崎の砂鉄の浜も印象的でした。

ついでながら 柏崎の祭りは「風の陣」という。この「風」は 古代製鉄の風神 または 弥彦の鍛治神を指すのかと思いましたが、どうも 層ではなくて、古くからの祭りに新しい風を吹き込んで 活力ある街にしようと始まった祭りにちなんで付けられたという。

でも 9世紀の遠い時代に この越後の柏崎で そんな「新しい風」が吹いたことを柏崎の人たちはしっているのだろうか・・・・・

勝手なことを考えながら、明日は「弥彦」に登ろうと柏崎を後にしました。

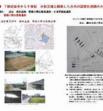
2007.5.15. 柏崎で Mutsu Nakanishi

7世紀後半から8世紀 地方拠点に 大和王権の大製鉄コンピナートが出現した



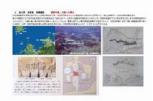
















ふいご装着なし

7世紀自然送風箱型大型炉 8世紀人工送風箱型大型炉

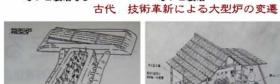
ふいご装着

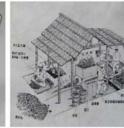


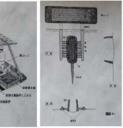
人工送風竪型大型炉 ふいご装着



鍜治場















鋳造場

軽井川南製鉄遺跡群 諸施設イメージ図 柏崎市遺跡者も館「柏崎に眠る古代の製鉄遺跡」より整理









千刈 C 東地区 半地下式竪型炉







千刈 C 東地区 半地下式 整型炉

番号	遺跡名	製 鉄 炉		廃 滓 場	木炭窯		507 ·4 4=	14 1 14	***
		長方形箱型炉	半地下式竪型炉)	半地下式(溝)	地下式(トンネル)	鍛冶炉	焼土坑	備考
1	ショリ田A								4 縄文の集落跡
2	ショリ田B		2	2	STATE OF THE PARTY	2			1
3	ショリ田C								2
4	小田ケ入A	1		1	4				1
5	小田ケ入B		2	1		3			
6	小田ヶ入C				1	7		古代・	中近世の製炭運用
7	小田ケ入D				N 1, 1			1000	1
8	谷地A	1		1	2		No. of the last of		
9	谷地D	1	1001111 - 10011		3	6			1
10	谷地E	GW T		1		2		THE RES	
11	谷地F			9	4				
12	下ケ久保A				2	1			3 溶解炉
13	下ケ久保日	Maria Commission of the Commis	2	1		15			, and the same of
14	下ケ久保C		3	1	13	5	3		
15	下ヶ久保D	1		1	6				
16	下ヶ久保E		2	2	4	1			
17	下ケ久保日				3			1000	
18	下ケ久保L				1				
19	下ヶ久保M		2	-	-				
20	下ケ久保N		1	1	1				
21	大善寺A	1	2	1	3	9			
22	干刈B	20 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -			1	3			鍛治工房跡?
20	千刈C 東		2	1	1	8			WATEL OF FIT :
23	千刈C 西	1		1	3	0		2	
24	千刈D(平安	1			3				粘土採掘坑
25	于刈F					10			未完成箱型炉1
26	干刈A					10			集落跡?
	合 計	6	18	14	51	62	3	15	
	-	製鉄炉	24	14	木炭窯	113	3	13	7 22 2

【 参考 】1. 軽井川南製鉄遺跡群現地説明会資料

柏崎市教育委員会 柏崎市立遺跡考古館編「柏崎に眠る古代の製鉄遺跡」

2. 軽井川南遺跡群報告会資料

柏崎市教育委員会 柏崎市立遺跡考古館編「眠りからさめた古代の製鉄遺跡」

3. 柏崎市立図書館ホームページ「陽だまり」<u>http://www.kisnet.or.jp/~hidamari/</u> 製鉄遺跡現地説明会

http://lib.city.kashiwazaki.niigata.jp/hidamari/kashiwazaki/photo/2005/20050619/shimogakubo.html http://lib.city.kashiwazaki.niigata.jp/hidamari/kashiwazaki/photo/2005/20051030/shimogakuboc.html

4. 8- 12 世紀 越・柏崎に眠る大製鉄コンビナート 軽井川南製鉄遺跡群 (資料)

http://mutsu-nakanishi2.web.infoseek.co.jp/iron3/7iron02.pdf